

方針管理と社長診断の仕組み

経営戦略のトップダウンツール
挑戦的な目標と重点管理により経営目的を実現！

あどばる経営研究所

本研修の特徴

- 1 戦略的方針管理の展開で戦略の立案プロセスと方針管理を統合します！**
経営戦略・事業戦略・製品戦略など戦略の重要性は認識しているが、実行段階になると良い経営手段をもたないためにその実現が未達に終わることがよくあります。「方針管理手法」では戦略の実現を効果的に行うことができます。
ISOのマネジメントシステムやTQM活動においては「方針管理」が基本になり、経営者のトップダウンの有力なツールになっています。
- 2 方針管理/トップダウンのための実用的な仕組みとノウハウの提供ができます！**
経営方針・戦略を立案するためのツールと方策実施・目標達成のための実行段階のツールを使い、フォローアップします。経営トップの方針・思いとこれらを実現する経営幹部の方策のベクトルが一致していることが重要です。
本プログラムで提供するツールはこれらを容易に実現することができます。
- 3 あらゆるトップダウン思考&戦略に応用することができます！**
あらゆる管理階層・経営機能でトップダウン展開する場合にも「方針管理」の手法は活用することができます。
経営方針の展開
事業部・部門の方針展開
製品戦略の展開
ISOマネジメントシステムにおける経営者責任における方針展開
プロジェクトチームの目標展開

研修内容

4時間/回×6回

おインテリション	方針管理手法の基本	方針設定方法	方針展開方法	実行計画書の作成方法	方針管理の応用	診断会の開催
研修のねらい、スケジュール、心構えなどについて注意し、価値観を共有します。	方針管理の仕組み 方針・目標・方策の展開方法 管理項目と評価尺度の設定方法 方針管理の評価 方針管理診断会の実施運営方法	トップ方針の設定方法について基本学習します 実際の経営方針を具体的に設定します。その中で経営理念、目標の適切性、実行可能性、下位への動機づけ等の重要性を理解して頂きます。	トップ方針を下位へ展開するための方法を学習します。 方針・目標・方策の展開を行います。 方針展開ツールの使い方及び実際の作成を行います。 実行計画書の作成方法を基本指導し、実際の作成を次回研修の課題とします。	方針・方策を実現するためにはこれらを実行するための行動プランが重要です。 あらかじめ作成して頂いた実行計画書の添削指導をいたします。	ISOマネジメントシステムへの経営者責任の実現ツールとしての応用方法を研修します。 7つの経営戦略手法への応用方法を研修します。	方針・方策の実行状況をフォローし、目標実現のための監視が重要になります。 単にチェックするだけではなく、実行者への指導の場としての「診断会」の開催方法を習得します。

方針管理導入手順

- 1 方針管理手法基本研修**
本研修プログラムで基本知識を研修します。知識研修だけではなく、実際の自社の経営方針を展開しながら実践ノウハウを習得することが重要です。
- 2 経営方針設定**
直近の時期の経営方針を設定します。又は既に作成済みの経営方針を見直すことにより、設定することも可能です。
- 3 方針展開計画表作成**
トップの経営方針を経営幹部、管理者が部門の方針・方策・目標することにより、具体化します。
上下の組織階層、水平の関連部門との相互関係の整合性をとるため、関係者が合宿形式で集中的に作成することも必要であるかもしれません。
- 4 実行計画書/行動プラン作成**
方針は実行できなければ、その目標の実現はありえません。実行計画書が現実的な行動プランになり、実行責任、管理項目、評価尺度などがより具体的になるよう行動プランを顕在化させます。
- 5 実行～診断会～評価**
方針管理の仕組みがうまくいっていることを確認するためにもPDCAのCに相当する「診断会」は不可欠です。
1～2回/年の仕組みの定期評価をチェックシートに基づき実施することも必要となります。